

広報

今月の主な話題

新年の挨拶	2～3
支部体協対抗駅伝大会	4
速度取締り指針	12～13
まちの話題	16～17
すくすく育て	21

伝統文化を引き継ぐ子どもたち

11月18日に開催された、そよっ子ふれあいフェスタ。「ふるさと」をテーマに各学年からの発表があり、6年生児童は仁瀬本神楽を披露。会場にいた保護者たちからは大きな拍手が沸き起こりました。

(20ページに関連記事)

新年明けまして



新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様方には、平成27年新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

私は、山都町長に就任以来、自ら掲げた「町民の皆さんとの対話によるまちづくり」を一貫した基本姿勢として、「昨年12月から自治振興区単位で「やまトーク」（みんなの座談会）を開催してまいりました。その「やまトーク」では皆様方より貴重な意見を聞くことができ、本年度の当初予算編成に反映することができています。本年度の当初予算の柱は、「農林振興」、「観光振興」、「防災・まちづくり」であります。この町の基幹産業は間違いなく農林業です。農林業の振興こそが、商工業の振興につながり、ひいては後継者となる青年層の定住が進み、町の人口をこれ以上減らさないことにつながると確信します。」やまト



新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、新たな気持ちで新年を迎えられ、心からお喜び申し上げます。

さて、今年は、合併して10年の節目を迎えます。昨年末には、念願でありました役場新庁舎が完成いたしました。新庁舎は木材をふんだんに活用した本町に相応しい建物となっています。町民の皆様には、長い間大変なご不便をおかけしましたが、これからは、役場の機能を十分発揮して、これからの町づくりの拠点となることを期待しています。いよいよ1月5日から、新庁舎における業務が始まります。職員の皆さんも新たな気持ちを持って、町民の福祉増進

ク」において数多くの地域で提起された深刻な鳥獣被害の対策として、イノシシ・シカの1頭当たりの捕獲の助成単価を引上げるなど、有効と考えられる対策を講じています。

また、私が最も進めたいと考える集落営農については、農地を守り、ひいては集落を守るために、集落でいかに取り組んでいけばいいか。農業機械の共同利用、営農の組織化などを含め、私は集落で地域の農業の将来を話し合っていたと、そのプロセスが何より大切で、必要だと考えます。県のモデル事業を、実施すると共に、町単独の支援として、集落営農を目指す集落に対し、組織の立上げに向けた話し合いや視察研修等に必要経費を定額補助しています。観光は、食事、移動、物産販売、宿泊を伴い、効果が多くの業種に行きわたる、すそ野の広い産業です。自然が豊かな山都町で、私が就任以来考えているのが、湿性タ イプのブナ林としては日本最大の規模を有する九州脊梁山地を活用し、トレッキングなど宿泊を伴う滞在型の観光を目指すことです。滞在型観光プランの開発を進めるとともに、登山や自然体験に関心のある顧客層へ、山都町の売込みをしてまいります。自然災害への対応として「防災・まちづくり」は重要な柱です。山都町をさらに住

のため、精一杯頑張って頂きたいと思 います。

昨年末には、アベノミクス効果を問うというところで、衆議院議員総選挙が行われました。私達国民のすみずみまでアベノミクス効果が浸透したかは正直実感がないといったところですが、何より国民の生活が豊かになるような政治を願うところです。過疎が深刻な本町において、地方創生の光が十分に当てられ、農林業、商工業の振興が図られるよう議会も頑張つて参ります。

ただいま建設中の九州中央自動車道においては、昨年12月に嘉島ジャンクションから、小池高山インターチェンジ間が開通しました。現在、北中島インターチェンジまでの平成三十年度開通を目指し、急ピッチで事業が進められています。その数年後には、矢部インターまでが開通する見通しですが、さらに、蘇陽、高千穂間が事業開始になるように、今年もその運動を力強く展開して参ります。この高速道路には、災害時の緊急道路として、医療に伴う命の道として、周遊観光の実現、広域物流の効率化

みやすい環境にして、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進します。防災関係では、災害用備品の購入を進めるとともに、消防団員が減少する中で、「やまトーク」でも多くの地区で話題となった自主防災組織について、県の補助金に上乗せした設立支援を行ってまいります。

今後とも住民の皆さんの御意見を伺い、その声に最大限寄り添って、限られた予算の中で優先順位をつけながら、町政を進めたい、そのために私は「やまトーク」を開催しているところです。この町をよくするために何をやらなければならぬか、ぼかすことなく、焦点を決めて取り組みます。昨年暮れに待望の新庁舎が完成しました。1月5日から新しい庁舎での業務を開始します。これまで分散した庁舎で、町民の皆様には不便をかけてまいりましたが、新庁舎完成を契機として、さらに住民サービスの向上に職員一同努力してまいりたいと思います。

最後になりましたが、皆様の一層のお力添えを頂きますようお願いいたしますと共に、皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げて、年頭に当たつてのご挨拶といたします。

山都町長 工藤 秀一

といった役割が期待されています。高速道路の開通を見据えた町の活性化策も急がなければなりません。

昨年は、2月の大雪に始まり、8月の広島土砂災害、9月の御嶽山の噴火等、自然災害が記憶に残る年でありました。年末には阿蘇山が噴火して、本町でも深刻な被害が発生しています。噴火の長期化による更なる被害の拡大が心配されるところです。今年は、大きな災害等がないことを願ひ、町民の皆様のご健康とご多幸を祈り、年頭のあいさつといたします。

山都町議会議員

中村 一喜男

おめでとーうございます

山都町表彰(固定資産評価審査委員)

山下 實さん(浜町)

1. 山下 實さんの活動歴

固定資産評価審査委員を平成2年3月22日から平成26年3月31日まで歴任

2. 山都町表彰理由

山下さんにおかれましては、山都町固定資産評価審査委員として、また、評価審査委員長として24年の永きに亘り務められ、山都町固定資産評価審査委員会で重要な立場を担ってこられました。今回永年に亘り多大な貢献をされました山下さんの功績を称え、表彰したものです。



特別叙勲(旭日単光章)受章

故 高橋 松久さん(御所・故人)

11月26日浜町事務所で行われた叙勲伝達式では、今年5月に亡くなられた松久さんの息子さんの秀栄さんが受け取られました。

この叙勲は、長年の地方自治功労に対するもので、故高橋さんは昭和56年9月に矢部町議会議員選挙に初当選以来、平成5年9月まで通算3期12年の長きに亘り在職され、経済常任委員会委員、総務常任委員会委員、経済常任委員会副委員長を歴任するなど、地方自治の発展に大きく貢献されました。



お帰りなさい!

高橋守雄さん

皆さんは高橋守雄さんをご存知ですか?

1883年に山都町の浜町で生まれ、幼少の頃は山都町で過ごし絶え間ない努力を続け、1908年東京帝国大学を卒業。内務省に入り警視庁警視に、その後は岐阜県や新潟県で警察部長を歴任され1922年に第7代熊本市長となりました。

市長就任後は数々の功績を残され、今も走り続ける熊本市電の整備や上水道の整備、旧十三連隊跡(現在の熊本学園大学正門の隣)の市街地編入を行われました。

熊本市長歴任後、滋賀県や長野県、兵庫県の知事となられ台湾総督府総務長官を歴任。1934年に第34代警視總監に就任されました。

警視總監退官後は故郷の熊本に戻り、東洋語学専門学校(現在の熊本学園大学)の理事や校長となり、熊本商科大学を開校し初代学長になりました。

1957年に亡くなられましたが、高橋さんの生涯の功績を讃え、熊本市名誉市民として、また熊本県近代文化功労者にもなられました。

先日11月21日に中央公民館の前で、高橋さんの胸像が立てられ除幕式が開かれました。除幕式には胸像建立の実行委員会会長である甲斐利幸さんをはじめ、関西山都都会長の吉見猪之助さん、高橋守雄さんのお孫さんである高橋英道さんも参加され盛大に行われました。実行委員会会長の甲斐さんは、「素晴らしい功績を残された高橋さんを町民の皆さんにも知ってもらいたい。今、日本は色々な問題や不安などで消沈している。高橋さんの功績を知ってみんなに活気を付けてほしい。」と話され、またお孫さんの高橋さんは、「生前、祖父は自然豊かな山都町にいつか帰りたいと話していた。やっと地元の山都町に連れて帰れたみたいで嬉しい。」と話されました。

第10回

山都町支部体協対抗駅伝大会



11月16日、第10回山都町支部体協対抗駅伝大会が開催されました。今年の参加チームは17チーム。そよう病院から、浜町の商店街までのコースを11人の走者がタスキを繋ぎ駆け抜けました。馬見原公民館での開会式後、寒空のもと緊張した面持ちで17人の中学生がスタートを切りました。

レースは東竹原支部体協の3区の走者、後藤佳子さんが一気に順位を5位まで上げ、それから徐々に順位を上げ、8区の本實淳治さんが遂に1位まで順位を上げ、見事優勝を果たしました。

最優秀選手賞は8区の本實淳治さん、敢闘賞は3区の枝尾祐希さんが受賞しました。

◆総合成績

順位	体協名	タイム
1	東竹原	1時間7分21秒
2	御所	1時間7分53秒
3	小峰	1時間9分38秒

以下 ④朝日⑤浜町C⑥下矢部東部⑦御岳⑧中島南部⑨中島東部⑩馬見原⑪菅尾、清和⑬上差尾⑭下名連石⑮中島西部⑯橘花上⑰二瀬本

◆区間賞

(敬称略、★は区間新記録)

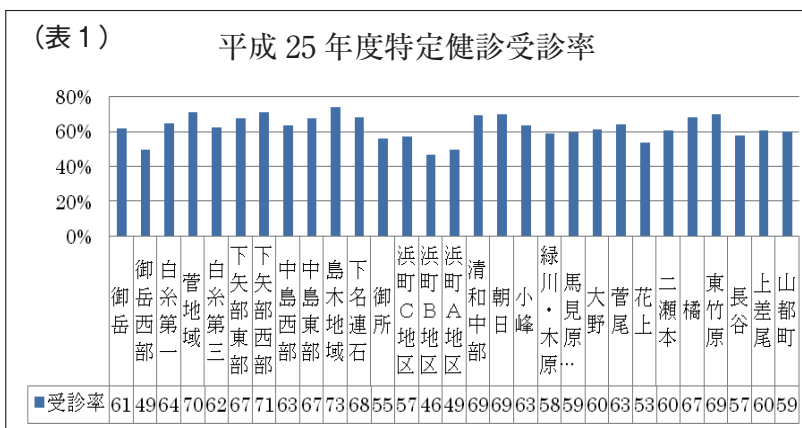
区(距離)	1区(2.4km)	2区(0.9km)	3区(2.3km)	4区(2.2km)	5区(1.8km)
選手氏名 (体協名)	田中世那 (中島東部)	藤本まつり (浜町C)	枝尾祐希 (小峰)	木村隆太郎 (御所)	田中理久 (中島東部)
タイム	★7分48秒	2分46秒	7分05秒	6分48秒	5分40秒
6区(1.2km)	7区(0.6km)	8区(3.1km)	9区(1.9km)	10区(1.2km)	11区(2.2km)
八田光晴 (清和)	木村稔 (浜町C)	木實淳治 (東竹原)	村山浩敏 (御岳)	森崎由貴 (御所)	赤星優成 (浜町C)
3分58秒	1分45秒	8分42秒	6分35秒	3分55秒	7分16秒



保健センターだより vol.39

平成25年度の特定健診受診率は目標60%を目指していましたが、0.1%及ばず、59.9%という結果でした。

健診を受けていない人の方が年間一人当たりの医療費も高くなります。



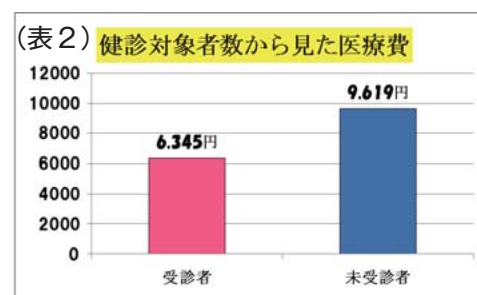
左の表1は平成25年度の自治振興区毎の特定健診受診率です。

平成25年度山都町健診結果についてのお知らせ！

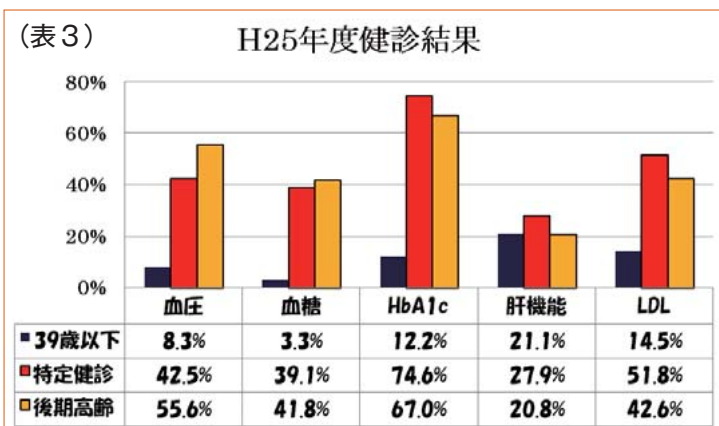
次に表3では平成25年度の基
本健診の結果で基準値以上で
あった人の割合を五項目で示
しています。

特に山都町ではHbA1c
(ヘモグロビンエーワンシー)
という糖尿病の検査項目による
基準値以上の割合が約70%と高
く、糖尿病や糖尿病予備軍の方
が多いことがわかります。また
血圧やLDLコレステロールも
特定健診・後期高齢者健診にお
いて40%を超えて高い状況にあ
ります。

山都町に多い糖尿病！



(表2) 重症となつて病院受診を
されている傾向にあることがわ
かっています。



生活習慣病の悪化予防のために！

下記の表4は特定健診受診者
の生活習慣質問票の結果を国と、
山都町と人口規模が同規模の
130町の平均と比較したもの
です。

山都町では食後間食、就寝2時
間以内夕食、毎日飲酒の割合が
高いことがわかり、この習慣が
健診結果に影響していることが

おすすめ春健診！
今年度最後の健診！！
清和地区・蘇陽地区で実施します！

期 日	場 所
平成27年2月12日(木)	清和保健センター
2月13日(金)	蘇陽総合支所

で生活習慣の改善に取り組みま
しょう。

(表4)	国	同規模町	山都町
食後間食	11.8%	12.4%	14.8%
就寝前夕食	16.1%	16.7%	23.4%
毎日飲酒	25.5%	25.3%	26.1%

考えられます。

生活習慣病は生
活習慣の改善で予
防できる病気で、
健診を受けて生活
習慣を見直し改善
をすれば、重症化
しないと言われて
います。

生活習慣病の増
加を抑えるため
も、病気を未然に
防ぐ努力が必要に
なります。

山都町民全員

第55回熊日写真展 新人の部特選

「北半球の天の川」



受賞された作品

今年8月に募集があった第55回熊日写真展の新人の部で、折尾拓美さん(米生)が見事特選に選ばれました。写真のタイトルは「北半球の天の川」。全国に誇れる山都町の星空を写真に収めることでこの町を色んな人にもっと知ってもらいたい、好きになってもらいたいという気持ちで今回撮影されました。写真の撮影について、普段見られる天の川も光害がある場所では見ることが出来ないとのこと。受賞について折尾さんは、「暗闇こそが山都町の宝、後世へと残していきたい財産です。この賞を励みに、山都町の良いところをこれからも写していこうと思います。」と話されました。



「学校給食・食育」研究発表会

蘇陽南小学校 校長 藤吉勇治

11月14日「学校給食・食育」研究発表会を開催しました。

蘇陽南小学校は、県教育委員会指定及び県学校給食会委嘱の研究推進校として、平成25・26年度の2年間に亘って研究を進め、研究の内容や成果を発表しました。



当日は、県内各地より140名を超える参加をいただきました。「研究の成果は子どもたちの姿で」は、この2年間ずっと言い続けてきた言葉です。目指す子どもの姿に向かって全職員が一丸となって取組を続けてきました。

特に、本校の研究の特徴は、それぞれの学年が老人会など地域と連携して作物の栽培活動を行い、収穫した作物を使ってふるさと料理を作るなど、老人会と交流を行ってきたことです。

体験活動を通してふるさとを見つめ、地域の方々や「食」に関わる人たちとの出会いがあり、学びを深め、生命尊重や感謝の気持ちを高めてきた子どもの姿がありました。

さらにPTAも学校と連携して「親の学び」プログラムなどの自主的な活動を実施され当日発表されました。また、当日は、子どもたちの育てた作物を使って、PTAで赤飯と豚汁を作られ「おもてなし昼食」として参加者に食べていただき大好評でした。

とても充実した実り多い研究発表会でした。これからも研究を継続し、さらに実践を深めたいと思います。



図書館情報

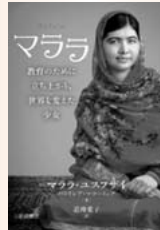
— 読書とは自分の小ささを知ることです —

- お問い合わせ
・本館 73-1616 ・清和 82-3033 ・蘇陽 73-2755
- 休館日：全館共通(月曜日・月末日・祝日・お盆・年末年始)

 今月のおすすめの本

「マラー教育のために
立ち上がり、
世界を変えた少女」

マラー・ユスフザイ著
バトリシア・マコーミック著
道傳愛子訳
岩崎書店 NDC936



女の子が学校に行く権利を訴え、銃撃されたマラー・ユスフザイさんが若い読者へ向けてつづった手記です。マラーさんは最年少でノーベル平和賞を受賞しましたが、現在も命の危険にさらされて生活しています。故郷を遠く離れて生活するマラーさんが何を思い活動しているのでしょうか。小学校高学年から読める本です。

「ウイスキーと私」

竹鶴正孝著
NHK 出版
NDC588



テレビドラマ「マッサン」のモデルとなった、竹鶴政孝氏の自伝です。幼い頃の思い出から、渡米するきっかけとなった事件、そして奇跡の出会い……。ウイスキーづくりに情熱を捧げた人生を、ユーモアを交えて語られています。

★平成27年2月のわくわく号運行予定★

蘇陽地区

月 日	巡回場所・時間
2月4日(水)	蘇陽南小学校(午後1時20分～) 馬見原保育園(午後1時30分～) 菅尾保育園(午後2時15分～) 二瀬本保育園(午後2時45分～) 蘇陽小学校(午後3時～) 蘇陽キッズ(午後3時15分～)
2月5日(木)	ブルーベリーの家(午前10時15分～) 蘇望苑(午前11時～) 蘇陽総合支所(午後0時30分～) 蘇陽中学校(午後1時30分～) ほたる(午後2時15分～) 大迫公民館(午後3時～)
2月6日(金)	スクランブル(午前10時30分～) 二瀬本コミュニティセンター(午前11時～) 花上多目的集会所(午後1時～) 上差尾興和商店(午後1時45分～) 菅尾公民館(午後2時20分～) まこと薬局駐車場(午後3時～)

清和地区

月 日	巡回場所・時間
2月10日(火)	小峰保育園(午前10時～) 清和小学校(午前10時30分～) 清和総合支所(午後0時30分～) 清和中学校(午後1時～) 大川保育園(午後1時30分～)
2月12日(木)	原尻公民館(午前10時～) 井無田診療所横(午前11時～) 支援ハウス(午後1時～) 清和児童育成クラブ(午後3時～)

矢部地区

月 日	巡回場所・時間
2月18日(水)	金内公民館(午前9時45分～) ころこ(午前10時30分～) 島木のお店(午前11時～) 矢部中学校(午後1時15分～) 白小野(午後2時～) さくらんぼ愛園(午後2時30分～) 大地(午後3時～)
2月19日(木)	稲生野(午前9時45分～) 一の瀬(午前10時20分～) 山風花(午前11時～) あおぞら(午後1時35分～) 富士ラーメン(午後2時～) 白糸事務所(午後2時20分～) 菅(午後3時～)
2月20日(金)	風ノ木(午前10時～) 浜美荘(午前10時35分～) 千寿苑(午後0時30分～) 大矢荘(午後1時15分～) 光露館(午後1時40分～) 彩雲苑・すみれ(午後2時～)

※道路事情により、巡回を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。
※図書館利用者カードをお持ちの方は、貸出しに必要ですので必ずお持ちください。
※本をたくさん借りられる方はマイバッグの持参にご協力ください。巡回場所での滞在時間は約30分です。
※貸出期間は1か月です。次に借りたい方がいらっしゃいますので、返却期限での返却にご協力ください。

★ 平成27年度わくわく号利用者募集のお知らせ ★

山都町立図書館では、移動図書館車「わくわく号」の利用申し込みを随時行っています。お住まいの近くの公民館などへ巡回いたしますので、お気軽に申し込みください。
申し込み締切日平成27年1月末日まで。申し込みはお近くの図書館までご連絡ください。日程や時間などを調整いたします。お1人からの利用でも巡回いたします。

- ・貸出期間：1か月
- ・1人10冊まで貸出
- ・読みたい本の予約やリクエストもできます。



休館日のお知らせ

年末年始

全館休館期間：平成26年12月29日(月曜日)から平成27年1月5日(月曜日)まで

蔵書点検・図書館整理による全館休館のお知らせ

全館休館期間：平成27年1月21日(水曜日)から1月31日(土曜日)まで

図書館全館を休館とし、蔵書点検を行います。皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。尚、期間中の返却は各館の返却ボックスをご利用ください。また、CD/DVDの返却ボックスへの投入は破損につながりますので、必ずカウンターへ返却頂きますようお願いいたします。

蔵書点検期間中のお問い合わせ：山都町教育委員会 72-0443

※返却期間を過ぎた図書館の本がご自宅にございませんか。蔵書点検にあわせて未返却本の確認を致します。ハガキや電話連絡などで貸出の本についてお尋ねすることがございますので、ご理解ご協力頂きますよう宜しくお願いいたします。多くの方に図書館の本を御利用頂くために、期限内返却にご協力くださいますよう重ねてお願い致します。

絵本講座－絵本のとびら開講のお知らせ－

参加対象：読み語りをされている方、絵本の好きな方・子どもさん、お孫さんへの絵本を選びたい方など、どなたでも参加できます。みなさんの参加をお待ちしております！

日時：平成27年1月18日(日曜日) 午後2時より
場所：図書館ホール

「ちいさいうち」石井桃子訳 岩波書店
「マイクマリガンとスチームショベル」石井桃子訳 童話館
「はたらきもののじよせつしゃケイティ」石井桃子訳 福音館書店

今回はヴァージニア・リー・バートンの作品を読みあいます。



山都警察署



同指針は、警察署協議会での御意見を踏まえ決定しており、今後も地域の交通情勢に合わせて、更新してまいります。

速度取締り指針

山都警察署では、重点的に速度取締りを行う路線や時間帯等を明らかにする「速度取締り指針」を策定しました。

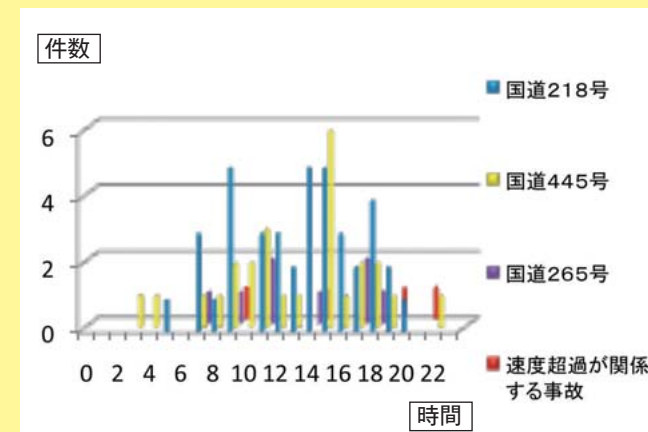
速度取締りの重点

次の路線、時間帯を重点に速度違反の取締り活動を推進する。
ただし、重点以外の路線、時間帯であっても、必要に応じて速度違反の取締りを実施する。

重点路線	重点時間帯	区 間	規制速度
国道 218 号	6:00 ～ 21:00	川野～仏原	50 キロ
国道 445 号	6:00 ～ 21:00	北中島～杉木	50 キロ
国道 265 号	6:00 ～ 21:00	菅尾～長谷	50 キロ

交通事故実態等の分析結果

人身事故等の発生状況（H 23 ～ H 25）



- ◎速度に起因又は関係する人身事故は国道 218 号を中心に過去 3 年間で 5 件発生し、時間帯別では、9 時～ 21 時である。
- ◎事故の形態を見ると速度超過により、カーブを曲がり切れず、路外逸脱（横転）する事故や対向右折車に即応出来ず、衝突する事故が発生している。
- ◎死亡事故は、平成 22 年から平成 26 年までの 5 年間に 4 件発生し、そのうち 2 件が国道 218 号で発生している。

- 山都警察署管内は、国道 218 号、国道 445 号、国道 265 号等の幹線道路が東西南北に走っており、総延長距離も長く、直線道路とカーブが交互に繰り返し、速度超過が関係する人身事故、物件事故が多発している。
- 平成 23 年から平成 25 年までの人身事故 116 件中、76 件(65%)が重点路線の国道で発生している。
- 死亡、重傷事故に繋がる物件事故も、過去 3 年間で 861 件発生し、速度超過が関係する事故も国道を中心に 82 件(9.5%)発生し、速度超過による無理な追い越し、著しい速度による路外逸脱、横転事故が多発している。

取締り要望

速度超過や無謀運転等の取締り要望等が多数寄せられている。

その他の取締り要点

- 信号無視、一時不停止等、交通事故に直結する交差点違反の取締りも実施する。
- シートベルト違反等、被害軽減のための交通違反取締りも実施する。
- 年間を通じ、飲酒運転等の悪質かつ危険な交通違反の取締りを強化して実施する。
- 管内が広大であることから、交通機動隊との連携による取締りや白バイ・パトカーによる警戒活動も取り入れて実施する。

農林水産大臣から感謝状が贈られました

「統計の日」を記念して、農林水産省が実施する農林水産統計調査に永年にわたってご協力いただいた方々に対し、その功績を称え農林水産大臣から感謝状が贈られました。

今年山都町からは、中村家継さん、國武國利さんが農業経営統計調査に永年協力されたことにより受賞されましたのでご紹介いたします。



中村家継さん真由美さん御夫妻（25年）



國武國利さん（10年）



「統計の日」とは

10月18日は、昭和48年7月の閣議了解により、「統計の日」と定められました。

これは、統計の重要性について、国民の皆様に関心と理解をもっていただき、統計調査に対する一層の協力を推進することを目的に設けられたものです。

この10月18日は、我が国における近代産業統計の源である「府県物産表」に関する太政官令が布告された明治3年9月24日を、太陽暦に換算した日が10月18日だったことによりです。

九州農政局統計部 熊本市西区春日2-10-1
096-211-9337

「2015年農林業センサス」を実施します



平成27年2月1日を基準日として農林業センサスを実施します。農林業センサスは、5年毎に実施され、実情に合った農林業施策を展開するため、農林業の生産状況や就業状況、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の実態を把握するために行う調査です。

調査対象となる世帯には、県から委任を受けた調査員が平成26年1月下旬から平成27年2月上旬にかけて、調査票の配布・回収に伺いますので、調査にご協力をお願いします。

自然の中で豊かに育つ子どもたち

その60

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治



（前号からの続き）
今年も下井手用水では、多くの種類の生きものが見つかった。（魚の仲間）シビ

ンタ（和名はアブラボテ）、カワムツ、ドンコ、タカハヤ、ドジョウ。（両生類（カエルなど）の仲間）アカハライモリ、トノサマガエル、ヌマガエル、ツチガエル、ニホンアマガエル。（昆虫の仲間）タガメ、ミズカマキリ、ゲンゴロウの仲間数種。多くの種類のトンボのヤゴ。その他に、サワガニや、二枚貝のシジミ、巻き貝のカワナナなどが見つかった。



生きものの採集を終わり、見つけた生きものたちの説明を始めた。まずは、主役の生きもの「シビンタ」だ。通潤用水に住むシビンタがなぜ注目されているのかを、クイズにして説明した。

続いて九州大学の鬼倉先生からシビンタの不思議な生態について説明していただいた。シビンタは平野部の標高の低い川や池に住む魚だが、山都町のように標高の高い所での生息は全国でもあまり例がない。



山都町のシビンタは、通潤用水があつたから、生き残ることができた。今回初めて観察会に参加された鹿児島県の三島さんは、「山都町は、とてもすばらしい豊かな自然が残っている所なんです。」と驚いておられた。

山都町の豊かな自然を実感しながら、今年の「通潤用水の生きもの観察会」を終了した。



魚が隠れる場所もあり、とても住みやすいところなのだ。産卵するための貝がいることなど、様々な条件がそろっているのが通潤用水なのだ。



山都警察署・署協議会だより

山都警察署
TEL72-0110

第2回山都警察署協議会開催結果

10月23日（木）、本年度第2回目の山都警察署協議会を開催しました。警察署から、山都町内の交通事故発生状況と速度取締り指針等の説明を受けました。協議会終了後は、熊本県警察学校、機動隊、警察犬の訓練の視察を行うなど、活発な協議会となりました。



機動隊視察状況



警察犬舎視察状況

事件・事故	平成26年10月末
刑法犯	42件 (31件)
人身交通事故	33件 (32件)

（内）は昨年同時期の発生状況

1月10日は110番の日です

110番の正しい使用をお願いします

事件・事故の緊急ダイヤル～110番

☆110番する時は

- なにが・・・何があったか（事件か、事故か）
- いつ・・・何時ごろあったのか
- どこで・・・発生した場所は、場所の目標は等の要領で落ち着いて話してください。

☆110番通報時の心がけ

- 事件、事故が発生したらためらわず、素早く、直ちに通報してください。
- 110番通報は、どの地域からでも全て警察本部にかかります。市町村名、電話番号、付近の建物、駅・停留所等の目標物をお話してください。目標物がない場合は、付近に設置されている九州電力の電柱番号を知らせてください。

いたずら電話の絶対禁止!!

いたずら電話は絶対にやめてください。
いたずら電話や不要な電話が架かっている間に、本当に緊急な110番が通報できなくなり、事件・事故の解決や人の生命・身体に関わる大きな障害となります。

まちの話題



あか牛とワインを堪能しました

蘇ジョレーヌーボーとあか牛まつり

11月2日、J A阿蘇蘇陽野菜集荷場で「蘇ジョレーヌーボーとあか牛まつり」が開催されました。小雨交じりの寒い中、多くの来場者が足を運び赤牛やワインを堪能しました。10年ほど途絶えていたこのイベントですが、昨年の同時期に復活し今年もまた大盛況を迎えました。

会場ではバーベキューの他にも、ライブ演奏や大根すりおろし大会、カレー早食い二人羽織など多くの個性的な笑いの堪えないイベントとなりました。



ラムネ早飲み競争

うまかもん祭

11月3日、道の駅「通潤橋」前でうまかもん祭が開催されました。当日は天気も良く、午前中から多くの来場者が詰めかけました。各店舗の多彩な出店があったほか、ハレーの試乗会なども行われました。

またステージイベントでは、矢部中学校吹奏楽部による演奏のほか、有志によるバンド演奏、矢部高校茶道部によるお茶の振る舞いもあり、通潤橋に訪れた観光客も足を留め賑わいを見せました。



会場には多くの方がつめかけました

矢部高生がお米を販売

11月13日から18日にかけて矢部高校生が台湾高雄市の大立百貨店で開催された「日本美食展」に参加し、高校の農場で栽培されたお米を販売しました。流通の仕組みを学び見聞を広め、国際交流ができる人材を育成することを目的に実施されました。催事に参加したのは、食農科学科3年高崎麻稀さんと銀治 雅さんの二人で、米の販売の他、おにぎりをにぎったり、町の観光PRを行いました。持ち前の笑顔で来場された方に「シンミファントワン」(新米おにぎりいかがですか)、「クワイライラン」(遊びに来て)と声を掛けていました。持ち込んだお米400kgは完売し、台湾での日本米の人気の高さに驚かされました。



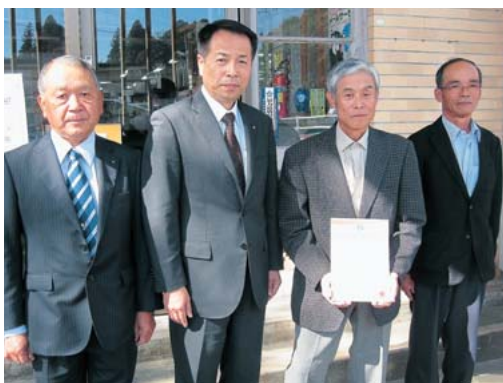
矢部高生が山都町をPR

かんがい施設遺産登録証伝達式

山都町の通潤用水がかんがい施設遺産に登録され伝達式が30日に行われました。

社会的、歴史的にも価値が高い用水やため池の保全を進めるために、国際かんがい排水委員会（ICID）に登録するもので本年度から創設されました。世界各国にある歴史的な17施設（国内では9施設）の一つに今回山都町の通潤用水が選ばれました。

10月23日に農林水産省で行われた伝達式には、通潤地区土地改良区副理事長の甲斐長雄さんが出席し、登録証を受け取りました。



給茶サーバーを小学校へ

11月26日、蘇陽小学校に給茶サーバーが導入されました。

くまもと茶魅力発信支援事業の一環として導入された給茶サーバーは昨年に引き続き二度目。町内の子どもたちへお茶の魅力を知ってもらい、また地元の特産でもあるお茶を知ってもらうため、山都町から導入されました。

当日は、茶振興会副会長の甲斐さんから上田校長へ茶葉が手渡されました。



日本舞踊を浜美荘入所者へ

11月28日「藤乃流絹若会」のみなさんが、浜美荘を訪問されました。絹若会は平成21年に以前の先生から絹若さんが受け継いだ形で発足。活動を始めてから5年がたちました。美しい日本舞踊だけでなく、「箱根八里の半次郎」の歌に合わせた健康体操も教えてくださり、入所者の皆さんも楽しまれていました。最後は「炭坑節」をみんなで踊り、大盛況でした。絹若会の皆さんは町の文化祭にも参加されたり、毎年4月には「初舞」を藤乃流合同で行ったりと積極的に活動をされています。今後は浜美荘だけではなく、いろいろな施設を訪問していきたいと話されていました。



★スポーツの結果★

第10回支部体協対抗バスケットボール大会

12月1日(月)～4日(木)

- 優勝 下矢部西部体協
- 準優勝 御所体協
- 3位 浜町C体協 Aチーム、通潤体協



優勝 下矢部西部体協

第10回支部体協対抗サッカー大会

11月4日(火)～14日(金)

- <1部> 優勝 御所体協
- 準優勝 浜町B体協
- <2部> 優勝 中島東部体協B
- 準優勝 浜町A体協



<1部>優勝 御所体協



<2部>優勝 中島東部体協B

おしらせ版

募集

ホームヘルパー2級の資格を取りませんか？

蘇望苑ではホームヘルパー2級の資格が取れる介護職員初任者研修を行います。詳しくはお問い合わせください。

▼開講日（予定）

1月、4月、7月、10月

土曜日もしくは日曜日（毎週）

※全13回通学

▼場所

蘇望苑

▼問い合わせ先

蘇望苑（83-0870）



防衛大学校募集

▼募集種目

防衛大学校（後期）

▼資格

高卒（見込含）

21歳未満の方（自衛官は23歳未満）

▼受付期間

平成27年1月21日～1月30日

▼試験期日

▽1次試験

平成27年2月28日

▽2次試験

平成27年3月13日

▼合格発表

平成27年3月20日

▼入隊

平成27年4月上旬

▼問い合わせ先

宇城募集案内所

（0964-23-2047）

【総務課（72-1111）】

相談窓口

年金相談

1月の年金相談は次のとおりです。ご希望の方は事前に予約してください。

▼期日

平成27年1月9日（金）

▼場所

矢部高齢者生産活動センター

申込・問い合わせ先

熊本東年金事務所

（096-367-2503）

【健康福祉課（72-1229）】

福祉・法律相談所

日々の生活の中では、いろいろな出来事があります。そんなときの相談窓口が福祉・法律相談所です。相談は無料。相談内容の秘密は固く守られます。内容により関係機関への紹介も行います。お気軽にご利用ください。

■福祉相談所

▼期日

平成27年1月8日（木）

午前10時～午後3時

▼会場

千寿苑、清楽苑、蘇陽総合支所

■法律相談所

▼期日

平成27年1月15日（木）

午前10時～午後3時

▼会場

千寿苑

▼問い合わせ先

社会福祉協議会（82-3345）

【健康福祉課（72-1229）】

講演・講習

地域をかえる「つながる力」

上益城郡医師会では、NHK「仕事の流儀・プロフェッショナル」に出演された秋山正子さんをお招きし、在宅医療のお話をうかがいます。お気軽にご参加ください。

▼日時

平成27年2月11日（水） 午後1時～

▼場所

嘉島町町民会館ホール

▼対象

上益城郡内在住の方

お知らせ

農業委員会選挙人名簿登録申請について

農業委員会委員の選挙人名簿は、農家の皆さんから提出していただいた申請書を基にし、1月1日現在で選挙資格を調査することとなります。1年間は、この選挙人名簿を使用することになります。

▼名簿の登載者

▽町内に住所がある（平成27年1月1日現在）

▽年齢20歳以上（平成7年4月1日までに生まれた者）で次の要件を満たす者

①10アール（1,000㎡）以上の農地について耕作の業務を営む者（農業経営者）

②農業経営主と同居の親族またはその配偶者で年間おおむね60日以上耕作の業務に従事する者

▼記入方法

①申請者代表（経営主）の方の氏名を記入し、押印する。

②世帯内における耕作面積を平方メートル単位で記入する。



③耕作従事日数欄も必ず記入する。

④記載されている事項について確認し、もし違っている場合や内容を変更する場合などは線で引き消し、正しい内容を記入してください。

▼配布・提出

①配布については12月末までに区長さんなどを通じて配布予定

②平成27年1月8日（木）までに、区長さんへ提出

▼問い合わせ先

農業委員会本所（83-1111）

白糸事務所（72-1156）

▼参加料

無料

▼問い合わせ先

上益城郡医師会

（096-282-0461）

イベント

森林自然観察・体験教室（三角岳）

▼日時

平成27年1月18日（日）

午前10時～午後2時（小雨決行）

▼集合場所

宇城市三角支所

▼内容

三角岳（標高406m）に登ります。

▼募集定員

40人

▼参加費

500円（保険料および資料代、小学生300円、幼児100円）

▼申込方法

「第9回森林自然観察・体験教室申し込み」氏名、年齢、住所、電話番号を記載してハガキ、FAX、電子メールでお申し込みください。

すくすく育て

乳幼児健診

平成26年11月21日（千寿苑）

4ヶ月健診

7ヶ月健診

1歳児健診

そよっ子フェスタ

11月8日、蘇陽小学校において「そよっ子ふれあいフェスタ」が開催されました。今年のそよっ子ふれあいフェスタでは、子どもたちが日頃学習で取り組んでいる『ふるさと』をテーマとした発表が行われました。各学年とも思考を凝らした劇や歌、6年生による仁瀬本神楽の披露等学習の成果を遺憾無く発揮し、会場に訪れた参加者を魅了しました。また、二瀬本保育園の園児や地域の事業所であるスクランブル、保護者の発表等、フェスタに彩を添え、笑顔の絶えない1日となりました。



〔二瀬本保育園〕
竹太鼓



〔1年生〕
入学してから楽しかったこと、嬉しかったことなど発表



〔2年生〕
地元特産のブルーベリーや赤牛、トマトの事をクイズ交じりで発表



〔3年生〕
統合前の小学校を校歌に合わせて紹介



〔4年生〕
蘇陽地区にブルーベリーが広がるまでの苦労などを発表



〔5年生〕
水俣で学習したことを劇を通して発表



〔6年生〕
地に残る神楽を説明し、実際に仁瀬本神楽を披露



幼・保等、小、中連携実践研究発表会

11月18日、清和小学校と清和文楽館において「幼・保等、小、中連携実践研究発表会」が開催されました。

山都町は、平成25年度から2年間、県教育委員会より「幼・保等、小、中連携実践研究事業」の指定を受け、清和地域の保育所、小・中学校（大川保育園、小峰へき地保育所、清和小学校、清和中学校）が中心となり、連携した教育・保育の在り方や、家庭・地域の教育力の活性化に向けた取組等について研究・実践を重ねてきました。

この日は、「いのち輝く清和っ子」の育成を目指して取り組んできた、これまでの研究実践の発表として、午前中は、清和小学校で園児と小学生の生活科の連携授業や小学5年生の算数の授業に中学校教諭が加わる乗り入れ指導、小中学生の文楽をとおした交流授業、中学3年生から2年生への清和文楽所作踊りの継承の授業などが行われました。午後からは、清和文楽館で清和小6年生の子ども文楽上演、清和中3年生の清和文楽についての発表や保、小、中の先生方による研究発表、研究協議等がなされました。参加者からは「保小中の連携や地域の教育力を活用したすばらしい研究実践だった。」「地域の伝統文化を学ぶことで、ふるさとに誇りをもつ子どもが育っている。」などの感想が出されました。



生活科（1・2年、年長児）
交流授業・保育



総合的な学習の時間（小6年、中1年）交流授業（清和文楽）



算数科（小5年）乗り入れ指導による授業



総合的な学習の時間（中2・3）交流授業（清和文楽所作踊り）

わたしたちの人権

118

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできな
い当然の権利これが『人権』です

福祉と人権の町づくりをめざして

～山都町立隣保館紹介～

はじめに

隣保館は、被差別部落及びその周辺地域の皆さんに対して、各種相談事業をはじめ社会福祉等に関する事業を行っています。また、国民的課題である同和問題への理解を深めるための学習・啓発活動等を実施しています。そのような取り組みによって、同和問題の速やかな解決に資することが目的です。

福祉の向上や人権啓発のための拠点として、信頼される「福祉と人権のセンター」となるよう努めています。

隣保館の歴史

日本の隣保事業は、19世紀後半イギリスで誕生したセトルメント活動（スラム地区対策）の影響を受け、明治後期に民間の社会事業家によって設置されたことに始まります。そして、被差別部落に隣保館が設置されたのは、1918（大正7）年の米騒動や1922（大正11）年の全国水平社の結成によって、部落問題が広く重大な社会問題として認識されてからのことです。貧困問題や社会的、地域的課題に対して、その地域とともに問題解決に対応する活動が行われてきました。そして、1965（昭和44）年の同和対策審議会「答申」後は、同和問題解決に向けたコミュニケーションセンターとして、本格的設置が始まりました。

現在、全国では約950館あり、熊本県には19

館が設置されています。

山都町立隣保館の事業内容

当館は、昭和51年4月に開設されました。以来、地域住民の生活実態を定期的に調査把握し、また生活環境や福祉、健康、教育等の各種相談事業、生活改善及び社会福祉等の事業を通じて、同和問題解決のために行政の第一線の機関としての役割を担ってきました。

◇相談事業

開設当初より休日開館を実施しており、地域住民の相談件数も年間200件以上に上っています。最近では高齢化に伴って、生活や健康面についての相談が多く、また就労の相談も数多く寄せられています。相談を受けたら、関係行政機関や各種団体等との連携を図り、速やかな問題の解決に努めています。

◇保健・福祉に関する事業

劣悪な生活環境に基づく健康上の課題が、生活実態調査等により明らかにされてきました。健康相談や料理教室等を実施しながら生活改善向上をめざしています。

◇広報・啓発活動

毎月1回の定期発行と随時お知らせ版として、館だよりを発行しています。また、町広報誌に「人権シリーズ」として、その時々の人権問題について記事掲載しています。この記事は、広報人権委員会が担当していますが、委員会のメンバーは隣保館と生涯学習課、企画振興課で構成しています。

隣保館を利用している団体にも、各種研修会への参加や自主的な学習会の開催を呼びかけています。

◇児童館の活動

隣保館は、児童館を併設しています。児童館は、「子どもの解放の拠点」として、差別を見抜き、差別を許さない明るくたくましい児童の育成を目的としています。子どもたちの人権を守ることで、未来を生きる子どもたちに人権の尊さを伝え、おかしいことはおかしいと言える子どもたちの育成に努めています。

このように、日常の相談事業や保健・福祉に関する事業などの活動と、行事や集会のような活動をうまく組み合わせながら、隣保館の本来の目的である部落差別の解消へと取り組みを続けています。

終わりに

隣保館は、相談事業や保健・福祉活動、隣保館だよりやチラシの配布、町広報誌による継続的な啓発、行政職員や教職員・各種団体等の現地研修等、教育や啓発活動の積極的な取り組みを通じて、同和問題の解決に向けた役割を担ってきました。このような取り組みの結果が、地区の皆さんの生活改善や町民全体の人権意識の向上等へつながってきています。しかし、不特定就労等の実態や、差別事件・事象がまだ後を断っていないという現実があるように、まだまだ大きな課題が残されています。

生活実態改善事業や相談事業等の基本的な隣保館事業を実施するとともに、地区内外の皆さんの交流や理解を深めることが必要です。また、隣保館を利用される皆さんにも差別解消への主体者となってもらわなければなりません。これまで取り組んできた事業に工夫を加え、内容を充実させながら、究極の目的である同和問題の速やかな解決につなげていくことが必要です。

隣保館が「福祉と人権の町づくりセンター」として信頼される館となるように、より一層地域社会に密着した総合的な活動を展開していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

書道

清省柳 宗舟外高
里青 王 無片 雪

和光教室書道部の吉良美也子さん（下市）作

季節のうた

▼やまなみの会「山脈」

草むらにまぎれて紅き吾亦紅
石路の細き花弁の十三枚
朝の日を返してゆる、秋桜
半年の病は癒えて今かえる
住みたる家を夢にまでみて
敬老会笑顔の友は其処此処に
歌や踊りに興じて居たり
栗旨し新米旨し今日もまた
祈る思いで体重計へ

▼通潤句会

ひとり来て山上にあり初日の出
神楽面外し大きな息吐けり
町並をゆるり見廻す春の斎

▼清和短歌会

朝まだき飛び交ふ鳥に生きて行く
力をもらふ特老の日日
吾が里の過疎化進も若者に
還りて住めと言えぬ虚しさ
廃屋の壁画となりてつた紅葉
夕日に映えて虫の音うれし

▼馬見原酔山会

とりどりの紅葉たづさへ母の客
大阿蘇の庭に住むかな冬の火山灰
文楽の三味の音とどく紅葉持り

原田 和子	小野 紀子	岩村 ヨシ子	木下 スエオ	田代 エミ	古閑 比奈子	村上 園江	西田 えい子	菊池 成河	山本 フサ	米田 定	梶原 公希	工藤 美智子	大西 久美子	高田 ゆかり
-------	-------	--------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	------	-------	--------	--------	--------

交通安全標語コンクール 入選作品（学校名は当時）

おさけはのんでうんてんしちゃだめよ
飲んだら乗らない固い約束笑顔の家族が待っている

山部アザー（中島小2年）

坂田和嘉子（一般）

山都町観光案内所

ギャラリー喫茶
ルポン
☎72-1054

～ 1月ギャラリーのご案内 ～

atelier 18 FREE

平成27年1月5日(月)
～ 2月1日(日)午前まで
水曜日定休日



水彩画の展示です。
約20点程を予定しています。

出展者：atelier

前号の訂正とお詫び

11月26日発行第117号の広報やまとにおいて誤りがありました。関係各位には大変なご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。
○24ページ カレンダー 23日
(誤) 昭和の日 → (正) 天皇誕生日

編集後記

12月になり、年末の慌ただしさが出てきました。私の事務所の前では、新庁舎の建設が完成間近となっています。先日、新庁舎の建物内に入る機会がありました。建設中で暖房等はなく、雪も降っていたため当然建物内は寒く、早く暖かい部屋に戻りたいと思っていました。フッと横を見ると、建設現場で働く人たちは雪が吹雪くなか黙々と作業をされています。与えられる良環境は当たり前ではなく、この寒空の下で作業をしている人たちのおかげということをお忘れなくしていきたい。何事も当たり前ではなく、してもらうことに感謝する気持ちを忘れないようにしていきたい。

新年まで残りわずか。皆さま、よいお年をお迎えください。㊦

1月

お知らせ イベント 当番医 発行日

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
				1 元旦 そよう病院	2 高田整形外科	3 坂本クリニック
4 伴病院 成人式	5 集合税（町県 民税・固定資産 税・国民健康保 険税）7期納期限 新庁舎開庁式	6	7	8 4歳児健診 （歯科）・発達相談	9 乳幼児健診 （矢部地区）	10
11 野田医院	12 成人の日	13	14 お知らせ版	15 浜美荘どん どや	16 乳幼児健診 （清和・蘇陽地区）	17
18 矢部広域病院 山都町いい歯 の日 絵本講座「絵 本のとびら」	19	20	21	22	23	24 九州市町村合 同公売会in大村 （長崎県） 九州山地神楽 祭り 二瀬本夜渡神楽
25 瀬戸病院	26 集合税（町県 民税・固定資産 税・国民健康保 険税）8期口座 振替日	27	28 広報紙	29	30	31



初雪のうのこ滝

今月の一枚

タイトル：初雪のうのこ滝

撮影場所：田吉

撮 影 者：藤本 義也

コメント：美しい秋の紅葉がまだ残る12月！例年になく思いがけない雪、その中に改めて1日山都の自然を感じ、思わずシャッターを押した1枚です。

雪のうのこ滝、新しい発見でした。

連絡先：フォトサークル山都

（事務所：あひる倶楽部内 72-3455 まで）

